

SCIENCE CASTLE in Singapore



「サイエンスキャッスルシンガポール 大会を経験して」
2年理数科女子

サイエンスキャッスルでは、「火星のテラフォーミングにおけるシアノバクテリアの探索」という題で発表しました。毎日、サイエンスキャッスルに向けて準備することは大変でしたが、私が参加できずに負担が大きくなりながらも研究を進めてくれた同じ研究チームの3人や、去年シアノバクテリアの研究をした先輩方の頑張りや、夜遅くまで残って研究を進めてきたその成果を発表し、賞をいただくことができてとても嬉しいです。

また、日本だけでなくシンガポールやマレーシアの生徒とも交流を深め、文化や感覚の違いが発見できて面白かったです。海外に行くときは、フェイスブックをいれて友達のアカウンントをゲットすることが、帰国したときに後悔しない秘訣だと思いましたが、そして、今回はあの有名な5つ星ホテル、マリーナ・ベイ・サンズの中に入ることができ、とても感動しました。次に来るときには泊まりたいです！

東北ILC推進協議会ILC講演会

とても面白かった。まだ自分には難しい話であったが、新しい発見や考え方があった。特に宇宙について、今まであまり興味がなかったが、興味を持った。スケールが大きくてイメージするのが大変なところもあったが、すごく楽しかった。クオークや反電子など、自分の知らないことが、まだまだあるんだなと思った。宇宙の謎が解明される日をたのしみにしたい。

大きさはないけど重さはある。重さ＝動きにくさ
↓自分も早く動けば重さ0になれる。
将来、宇宙開発に携わりたいので、とてもためになったし面白い講演だった。

目では見えない世界。とても難しい内容だったが、素粒子のことについて興味を持つようになった。

参加した生徒の感想

平成29年11月29日(水)本校講堂を会場に、東北ILC推進協議会ILC講演会が開かれた。ILCとは国際リニアコライダーの略称で、国際協力によって設計開発が推進されている、次世代の直線衝突型加速器である。ILCによって宇宙の始まり(ビッグバン)から1兆分の1秒後の状態を人為的に再現することで、未知なる素粒子を探索し、宇宙誕生の謎を探索しようとする試みである。以下は講演会を聞いた生徒の感想である。

| | | |
|-----------|-------------|-------------------------------------|
| 11月19日(日) | 09:15-10:00 | 開場、参加登録スタート |
| | 10:00-10:20 | 開会の言葉、キーノート・スピーチ、審査員紹介 |
| | 10:20-10:40 | 参加者アイスブレイク・ワークショップ |
| | 10:40-11:40 | 口頭発表① |
| | 11:45-12:25 | ポスター発表① |
| | 12:25-13:25 | ネットワーキング・ランチ |
| | 13:25-14:25 | 口頭発表② |
| | 14:30-15:10 | ポスター発表② |
| | 15:15-16:15 | 口頭発表③ |
| 11月20日(月) | 09:00-09:20 | ツアー始めの言葉(サイエンスセンター) |
| | 09:20-11:00 | サイエンスセンター見学 |
| | 11:00-13:00 | 昼食、移動 |
| | 13:00-14:30 | 三井化学シンガポールR&Dセンター訪問 |
| | 14:30-15:30 | シンガポール国立大学へ移動 |
| | 15:30-16:30 | シンガポール国立大学 インキュベーションセンター NUS CUTE訪問 |
| | 16:30-17:30 | 振返り会 |

科学系部活動交流・研修会に参加して
2年2組男子

私はコアSSクラブの一員としてこの会に参加しました。その主な内容は、繊維やフィルムを生産している東レからいらした講師の方による、簡単な実験を交えた研修と他校生徒との交流会です。

その中で最も印象に残ったのは、海水から淡水を精製する技術です。というのは、この原理の根底にあるのは、私たちの良く知る過であり、まったく複雑なものではなかったからです。中学校の理科で習った知識を応用して、安全な水を手でできない人々を救済していることに驚きました。

この会を通して、先端技術を理解するために基礎が肝心であることを実感しました。さらに、このような機会を設けてくださったことで、自分の視野を広げることができました。また、後半の交流会では、他校の活動をプレゼン形式で聞き、自分の考えをうまく相手に伝える難しさを学ぶことができました。

科学系部活動地区交流・研修会

